

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

## 公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
交通部会長 松 本 治 男  
専務理事 清 原 淳 平

### 交通部会のお知らせ(第248回)

日時 平成29年3月28日(火) 午後1時半～3時半

場所 参議院議員会館 1階 102会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「102会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、最近の交通情勢について想う

挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)

2、平成28年における交通事故の発生状況

3、平成29年春の全国交通安全運動の実施について

4、交通事故統計(2月末及び3月27日まで)

解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報告

去る2月27日開催の第247回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長から、「最近の交通情勢について想う」と題して開会挨拶がありました。知人がニュージーランドを訪れた際にレンタカーを借りようとしたところ、以前は必要なかった国際運転許可証が、必須に変わっていたそう。交通ルールは国によって様々で、外国人の目からは分かりにくい部分も多々あるだろう。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐(警視)より、「平成28年中の交通死亡事故の特徴」について解説がありまし

た。平成27年の事故分析で正面衝突死亡事故の8割が単路で発生したことがわかった。そこで28年の分析では、なぜ危険認知速度の遅い高齢者が単路で事故を起こしているのかを分析したところ、操作不適が平均の8倍、漫然運転が平均の6倍であること、シートベルトの着用率が平均より9%低いことが判明した。前方不注意やシートベルトの着用意識の醸成は、有識者会議での議論も踏まえて検討していく。横断中の死亡事故については、80歳以上になると法令違反の割合がいずれも平均の4～8倍ある。直前直後横断や横断歩道以外横断の危険性啓発は引き続き必要となる。出会い頭衝突事故も事故の傾向としては多く、特に交差点直進中の自転車対左からの自動車というケースが多い。自転車側も何らかの違反を行っているケースが多いが、自動車側も交差点進入時は車両だけでなく自転車の動きに注意を払う必要がある。昨年は、飲酒運転の厳罰化以来、初めて死亡事故が増加した。他の事故の死亡率が0.7%に対し、飲酒事故の死亡率は5.7%であり、飲酒が死亡事故につながりやすいのは明白である。

次に、「農耕作業用自動車の交通事故防止の推進」について解説がありました。毎年30件前後農耕作業用自動車による死亡事故が発生しているが、昨年はやや増えたため、農林水産省、JAと共同で初めて事故防止対策を試みた。死亡事故は単独事故が8割で、追突事故が2割程度。農繁期が多い。農業従事者の高齢化のためか70～90歳代が多い。ヘルメット着用による横転死亡事故の防止、安全フレーム等の装着による車外放出の防止、反射板による追突事故防止などを呼び掛けている。

部会前日（2月26日）までの死者数は533人で、前年比61人の減少。1月中は死者数282人で、月間200人台は統計開始以来初と、本年に入っても減少傾向は続いている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、有意義な会合となりました。

★ 資料代 会員500円、非会員2000円  
次回、3月28日（火）の交通部会（参）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様の F A X \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備から、非会員で参加希望の方は、必ず、前日までに事務局へ御連絡下さい。**

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)